

## 有明海に生息する大型種「ビゼンクラゲ」を展示中！ クラゲの魅力を追求した「海月銀河」でご覧いただけます

大阪市港区の海遊館では、平成 30 年 7 月 21 日（土）から館内 3 階「海月銀河」で、有明海に生息している「ビゼンクラゲ」（傘の直径およそ 40 cm、計 3 匹）を期間限定で展示しております。クラゲの魅力を追求した「海月銀河」で、神秘的な姿が間近でご覧いただけます。

ビゼンクラゲは、成長すると傘の直径が 50cm、重さが 10kg 程度となる大型のクラゲです。有明海近辺では夏の風物詩として有名で、食用として漁獲されています。

今年も有明海の“クラゲ漁”が始まる時期に合わせて、展示用のクラゲを採集しました。

海遊館では平成 13 年から有明海での「ビゼンクラゲ」の調査を行っており、平成 14 年に飼育大型個体の輸送と展示に初めて成功しています。

海遊館では、有明海の「ビゼンクラゲ」をご覧いただくことで、生命の不思議さや自然環境について興味を深めていただければと考えています。



ビゼンクラゲ展示の様子

### 取材について

「海月銀河」は、明るさを抑えた特別な空間となっていることから、通常の家遊館内より撮影に配慮が必要と考えています。事前に海遊館広報チームまでご連絡ください。

連絡先：海遊館広報チーム 06-6576-5529

### 1. 【期間限定「ビゼンクラゲ」展示概要】

展示期間：平成30年7月21日（土）から8月末頃まで（予定）

※生物の状況により、予告なく展示期間や展示数を変更する場合があります。

場 所：海遊館3階「海月銀河」

展 示 数：3匹（傘の直径およそ40cm）

### 2. 【ビゼンクラゲについて】 学名 *Rhopilema esculenta*

南日本の沿岸海域に生息する。かつて岡山県児島湾が名産地だったことから「備前クラゲ」の名がついたといわれている。有明海沿岸では「あかくらげ」と呼ばれている。食用になり、寒天質の傘の部分は厚くて硬く歯ごたえがある。成長すると傘の直径が50cm、重さが10kg程度になり、大きな個体では80cm、20kgにもなる個体もいるといわれている。傘の縁に触手（しょくしゅ）はなく、8本の口腕（こうわん）には、それぞれ多数の棒状の付属器が付いている。傘は白く、口腕は赤い。傘の縁を力強く開閉させて活発に泳ぐ。7月から10月頃にかけて、有明海沖合で刺網漁（さしあみりょう）によって漁獲される。有明海で見られるものは、他の海域のものと別の種類の可能性もあり、現在研究が進められている。

### 3. 【海月銀河について】

クラゲの魅力を追求し「浮遊感」、「包容感」、「透明感」、「命の拍動」、「静謐感」を空間全体で表現したエリアとして、平成30年3月17日にオープン。水流や照明を工夫した大小12基のクラゲ専用水槽を設置し、10種約300匹を展示する。バックヤードには、クラゲを繁殖させる特別な施設を備えており、常時クラゲの赤ちゃんを育てている。